平成30年9月20日	第2回高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関する有識者会議	資　料　3

国民健康保険をスタート
後期高齢でステップアップ
介護保険を将来的な軸とした事業連携

－誰のために、何のために－

滋賀県健康づくりキャラクター
ハグ＆クミ

平成30年9月20日（木）

なつはら　よしはる
滋賀県東近江市保険年金課長　夏原　善治

滋賀県東近江市の位置

琵琶湖
耕地面積　8,300ha
近畿地方　第1位
山間部
至 名古屋
能登川支所
能登川駅
五箇荘駅
五個荘支所
近江鉄道本線
繖山
JR琵琶湖線
JR東海道新幹線
箕作山
八日市駅
湖東支所
東近江市役所
愛東支所
近江鉄道八日市線
八日市
インターチェンジ
日野川
雲雀山
名神高速道路
蒲生SIC
蒲生支所
桜川駅
至 京都
永源寺支所
永源寺ダム
日本コバ
政所出張所
御池岳
藤原岳
鈴鹿山脈
石榑トンネル
銚子ケ口岳
三重県
兵庫県
京都府
福井県
岐阜県
愛知県
琵琶湖
滋賀県
東近江市
N

滋賀県東近江市の概要と市町村合併

- 人　口　　114,517人（平成30年4月1日現在）
- 総世帯数　　41,761世帯
- 国保被保険者数　　23,645人（加入率　20.65%　H29年度21.55%）
- 国保加入世帯数　　14,043世帯（加入率　33.63%　H29年度34.01%）
- 後期高齢者医療被保険者数 14,346人（加入率12.5% H29年度12.2%）

- **平成17年2月11日**
  八日市市・永源寺町・五個荘町・愛東町・湖東町の１市４町
- **平成１８年１月１日**
  東近江市・能登川町・蒲生町の１市２町で、「東近江市」が誕生
  最終的に、１市６町での合併となりました。

平成30年度　東近江市の組織図

市民環境部

保険年金課（37名）

年金福祉係・・・国民年金・福祉医療
国保医療係・・・国民健康保険（資格・給付・保健事業）
後期高齢（給付）
保健師、管理栄養士、歯科衛生士（各嘱託1）
国保料係・・・・・国民健康保険料係
後期介護保険料係・・・後期高齢（資格・保険料）、介護保険料

連携

健康福祉部

健康推進課・・・国保特定保健指導、重症化予防（ハイリスク訪問）
（保健センター）　高齢者健康づくり事業・介護予防事業

福祉総合支援課・・・地域包括支援センター・介護予防事業

長寿福祉課・・・介護保険認定・給付

国 保 病 院・・・ 能登川病院（指定管理）
国保診療所・・・永源寺診療所・あいとう診療所（指定管理）湖東診療所・蒲生医療センター

第２期東近江市保健事業等実施計画（データヘルス計画）

東近江市の特徴①

１４地区別データヘルス計画

1　平田地区編
2　市辺地区編
3　玉緒地区編
4　御園地区編
5　建部地区編
6　中野地区編
7　八日市地区編
8　南部地区編
9　永源寺地区編
10　五個荘地区編
11　愛東地区編
12　湖東地区編
13　能登川地区編
14　蒲生地区編

東近江市の特徴②

医療費分析データの追加

1　医療・介護
2　薬剤
3　その他

東近江市の特徴③

新たな事業内容

1　包括ケアとの連携
2　歯科指導
3　広域的な連携

平成26～29年度の主な取組について

①国保ヘルスアップ事業（～H28年度、H29年度～31年度）国庫事業

②データヘルス計画（保健事業実施計画）の策定（平成26年度、平成29年度）

③保健指導実務者研修会

④未受診者個別訪問　　業者委託3,000世帯、職員による訪問2,000世帯

⑤協会けんぽとの事業連携協定書の締結（H26年9月）⇒啓発の共同実施

　⇒ラッピング電車、バス看板作成⇒健診の合同実施⇒保健指導の受託

⑥巡回型人間ドックの実施（H23年度～）健診WEB予約の導入（H29年度～）

⑦国保・介護・医療データ分析事業（H26～29年度）

⑧こころとからだの健康づくり事業（幻のラジオ体操第3：龍谷大学）

⑨「スマホｄｅドック」　未把握者、若年者の早期介入事業として実施

⑩服薬情報通知の取組（全国初・平成28年度～）

⑪介護保険担当課との連携（物忘れ相談プログラム購入・平成28年度～）

⑫Yahooクレジットカード決済とＳＭＳシステムの導入

⑬健康推進アプリ「BIWA-TEKU」（県内10市町、協会けんぽ、共済組合ほか）

⑭関係各課と団体との連携（庁内、三師会、自治体・保険者ほか）

※後期高齢者ウエルカム事業「いきいきシニア７５」

本日の内容

１　国保・介護・後期データ分析事業
２　後期高齢者ウエルカム事業
３　各課連携によるフレイル対策

資料提供
１　服薬情報通知の取組

庁内連携

		国民健康保険	介護保険	後期高齢者医療
制度について		国民皆保険制度の最後の砦 市民を対象に被保険者を構成 加入率25%未満	65歳以上全市民が対象	75歳以上全市民が対象 （一部65歳以上対象） 人生最終の保険
問題点		資格取得と喪失が頻繁 継続加入者と一時的加入者が混在 自治体での計画策定に国保データを使用するが加入者減少中	認定を受けたり、サービスを利用していないと加入しているメリットが見えない	保健事業の整備が遅れている
市民環境部	保険年金課	資格・給付・料金・保健事業 健康推進アプリ「BIWA-TEKU」	資格・料金	資格・給付・料金 いきいき
健康福祉部	健康推進課 （保健センター）	保		
	福祉総合支援課			
	長寿福祉課		給付・認定・計画策定	いきいきシニア 高齢者健康づくり
総務部	まちづくり協働課	健康推進アプリ「BIWA-TEKU」		
商工観光部	商工観光課	健康推進アプリ「BIWA-TEKU」		
税務部		クレジットカード収納業務		

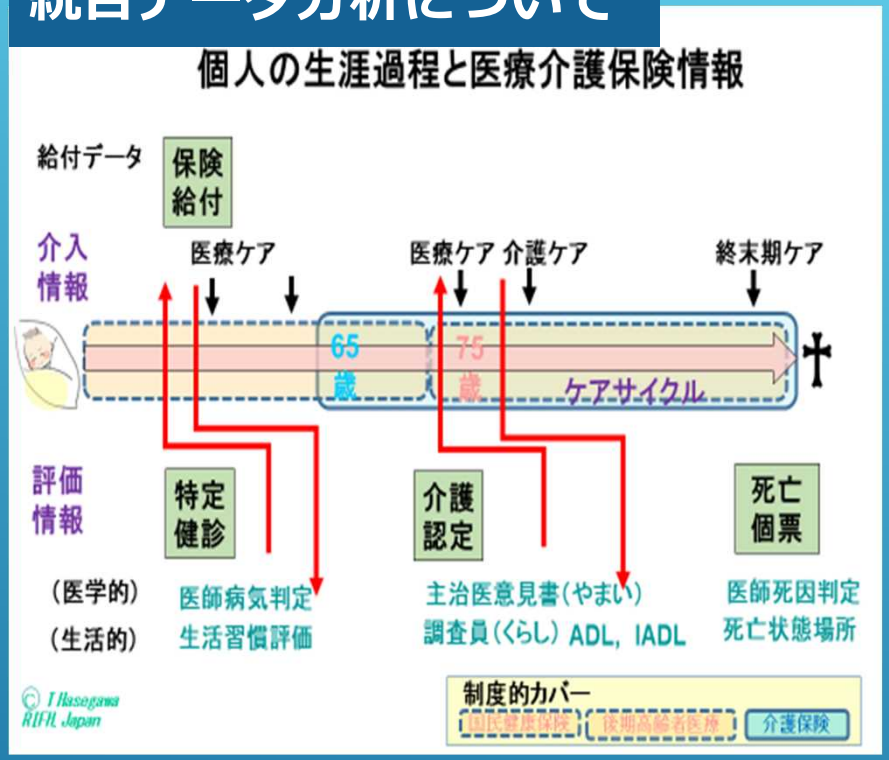
国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険データ分析

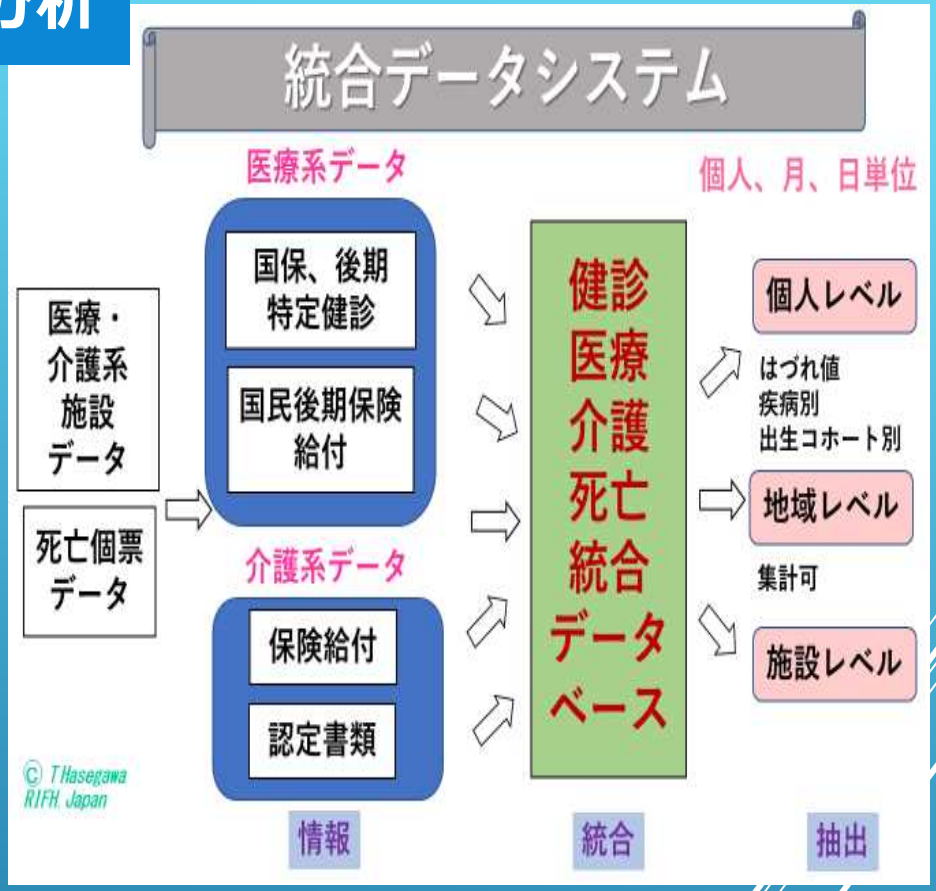
高齢者健康づくり・フレイル対策

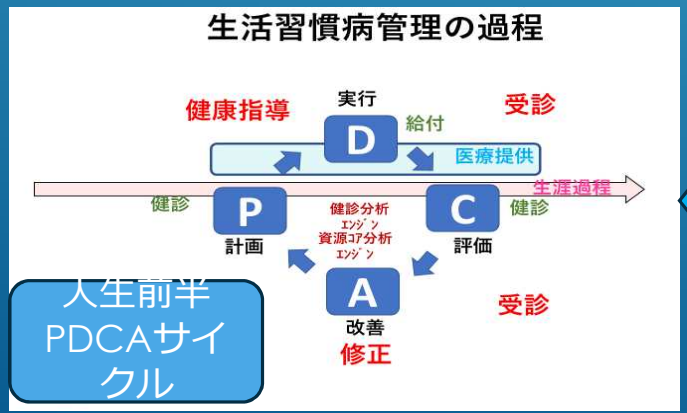
いきいきシニア75

1　国保・介護・後期のデータ分析

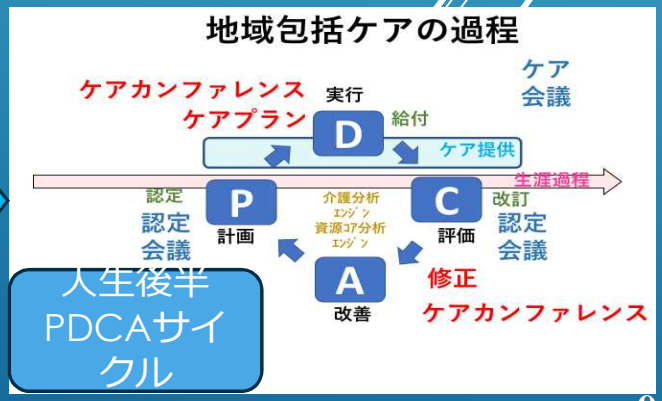
統合データ分析について



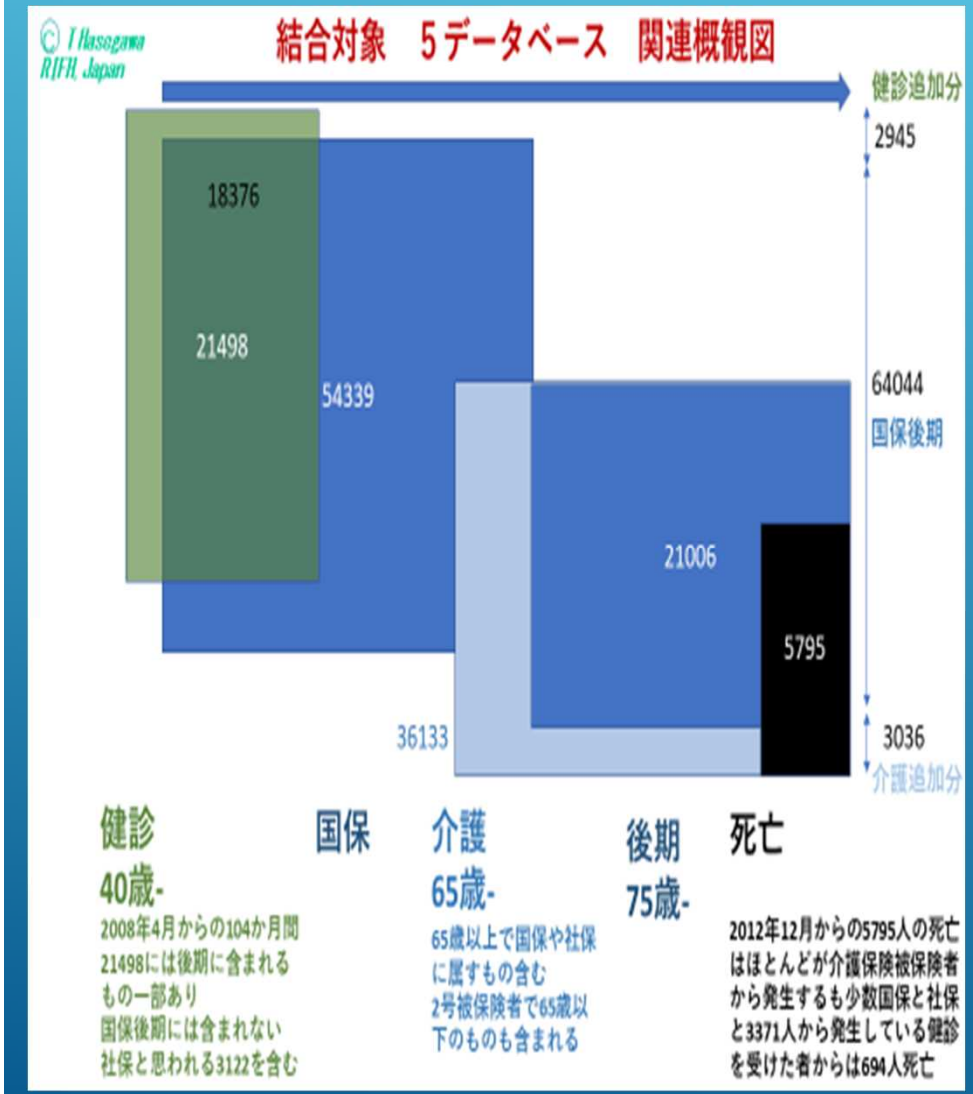


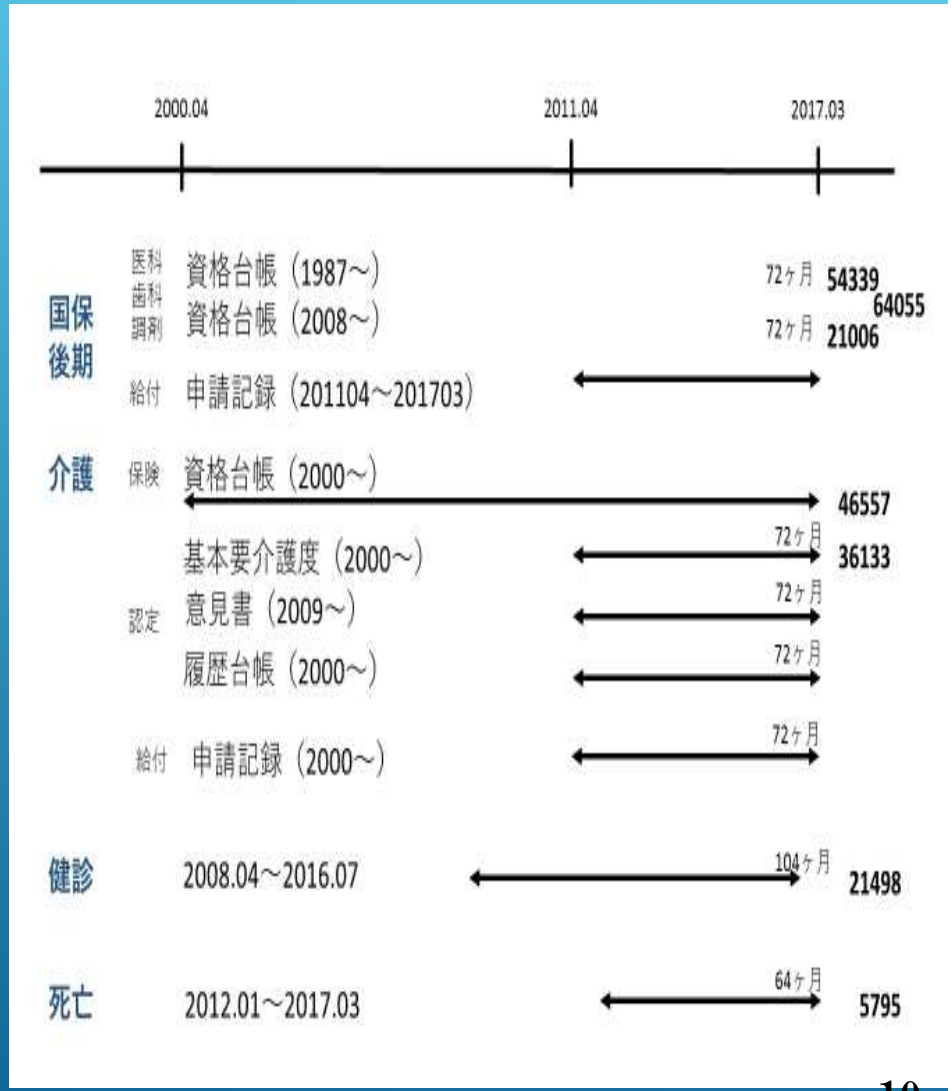


データ分析の基本となった二つのPDCA

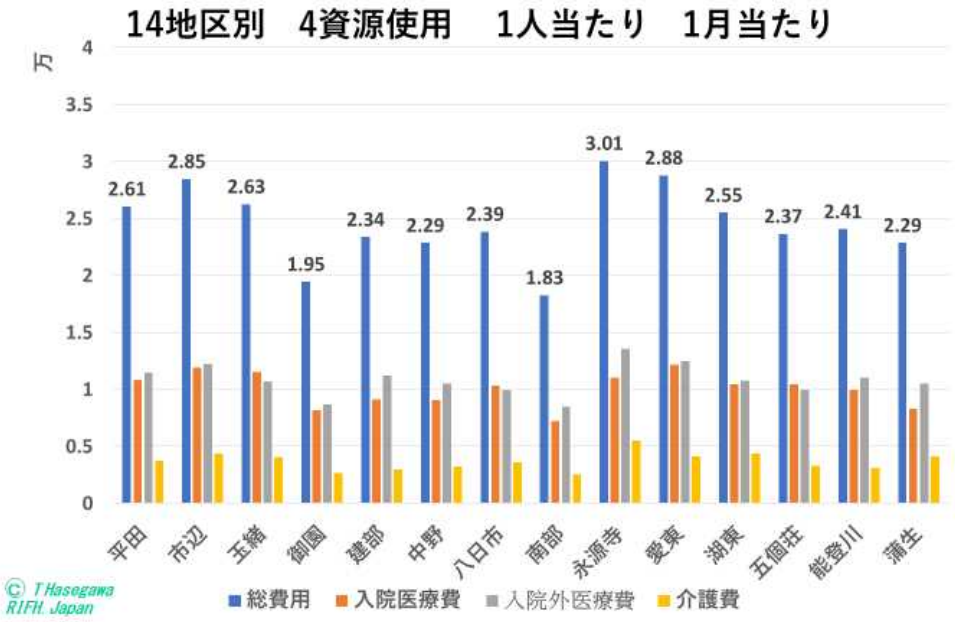


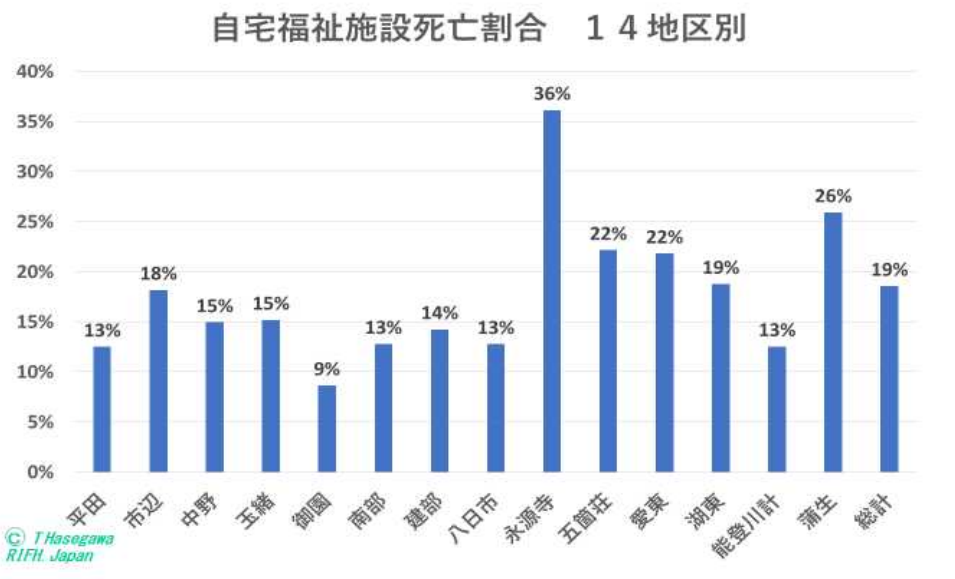
統合データベースの構造
データベース単位の年度構成と相互関係

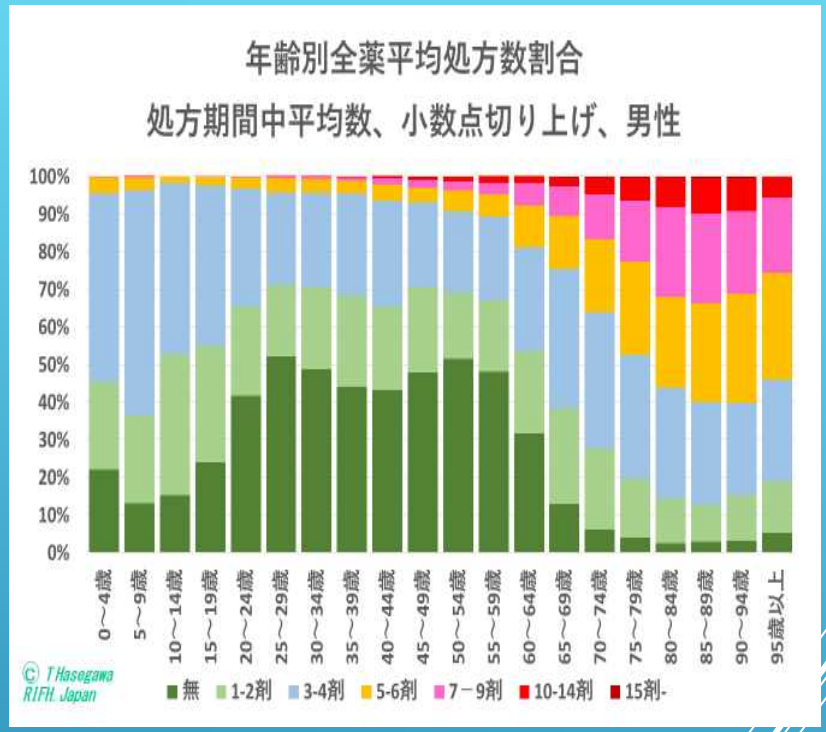


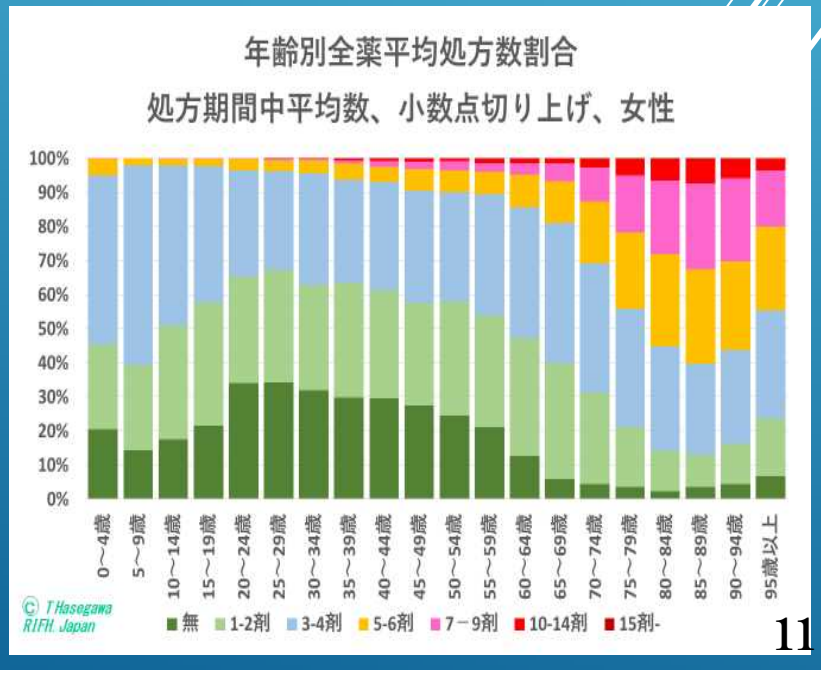


データ分析から見えてきたもの







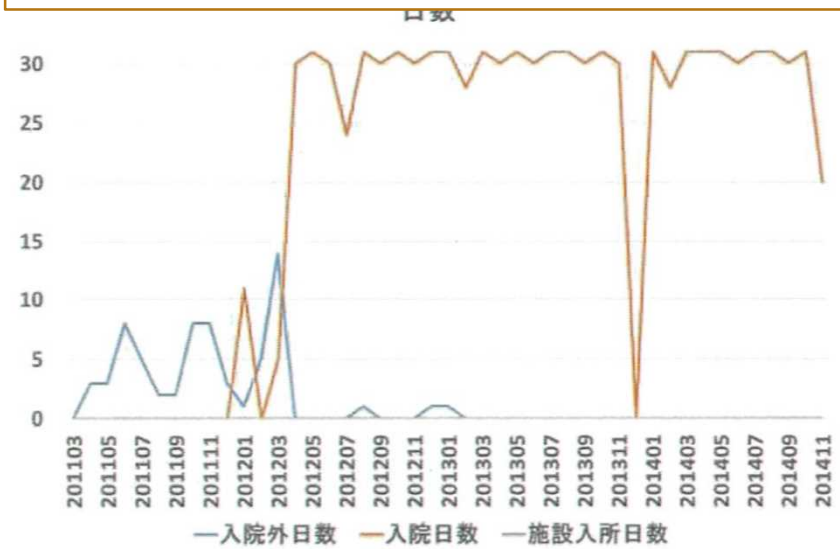


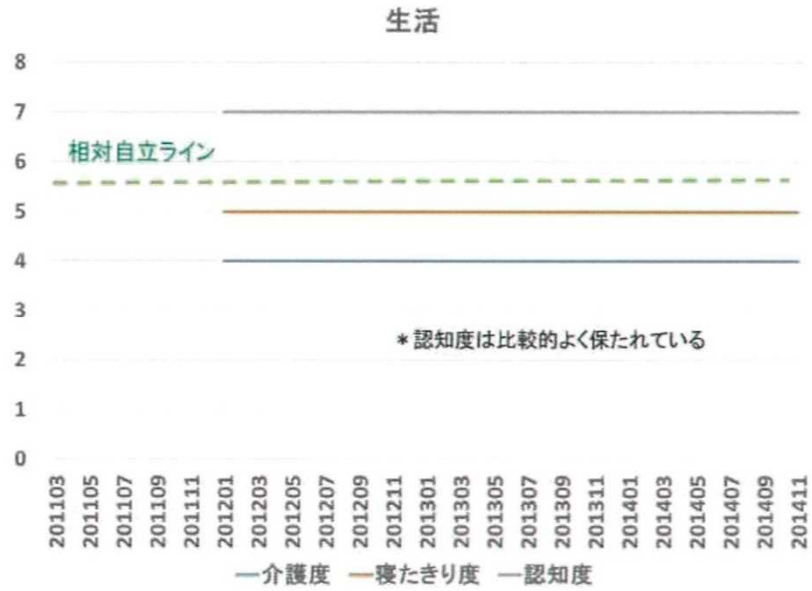
70歳　　男性

網膜色素変性症

認定日	2012/01	死亡日	2014/11	期間	35.1月
費用使用	万円	資源使用	日	入院	
入院	2,559	入院	943	回数	
入院外	54	入院外	65		
介護	6	入所	24		
合　計	2,620				
看取り	無し		死亡場所	病院	

見えてきたもの・・・生涯医療費
介護認定から見えてきたもの
・・・医療の結果

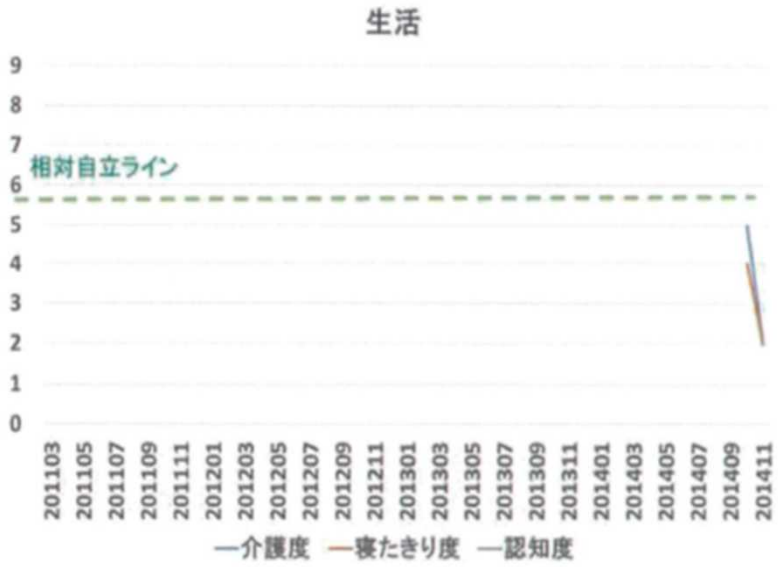




61歳　女性

乳癌

認定日	2014/10	死亡日	2014/11	期間	1.6月
費用使用	費用:万円	資源使用	日数 :日	入院	
入院	72	入院	21	回数	
入院外	713	入院外	105		
介護	28	介護	22		
合 計	813				
看取り	訪問看護師		死亡場所	在宅	



２　後期高齢者ウエルカム事業

新規後期高齢者を対象とした「いきいきシニア75」事業起案～実施まで

平成27年2月　◎県後期高齢者広域連合保健事業ワーキンググループでの来年度事業の検討

◎生活習慣病予防研究センターから、滋賀県、県国保連合会、後期高齢者広域連合に事業提案

※事業目的は同じ、でも実施対象者や地区開催で相違

平成27年3月　「新規事業」起案！３月に厚生労働省で相談。

平成27年4月　新規事業として採択

事務局：保険年金課（後期高齢資格担当）
会計：一般会計（高齢者保健事業費）
委託契約：保険年金課
介護保険事業との共同事業の場合、主担当課で契約し、
それぞれの関係課で支出

※対象となる補助金を探すのが下手！
「お金がないから出来ない」⇒探さずに適当な発言の担当者

東近江市後期高齢者ウエルカム事業　いきいきシニア75　プログラム

項　　目	内　　容
受付開始	受付、被保険者証の交付
測定	身長、体重、血圧、握力測定
開会あいさつ	主旨説明
制度説明 適正受診	○制度の概要、給付、保険料および今後の手続き等 ○重複受診を控えるなどの受診マナーについて。 ○お薬手帳の紹介。
口腔ケア	○口腔衛生についての指導 ○お口の体操
高齢者健診 介護予防	○認知症を入り口に、生活習慣病予防について説明 ○健診を受診しなければならない人を受診につなげる (自分の身体を知る)
休憩、準備	(測定が終わっていない方の測定)
栄養指導	○意識して取り入れたい食品 (ジュース試飲) ○「食生活現状把握シート」の記入 ○食べ方のポイント
運動指導	○活動時間、運動習慣アンケート ○測定　◆片足立ち◆5メートル歩行 ◆ロープ作業◆下肢周囲径 ○運動講話
豊かに老いる（終活）	○「わたしの生き方」朗読 ○相談窓口の案内
いきいきシニア７５ 「健康貯金」	○「健康貯金」プログラムについて
終了あいさつ	
事務手続き	○口座振替依頼書 ○高額医療費申請書

広域連合
保険年金課
（資格給付・
料金）

保健所・健康推進課

健康推進課

健康推進課
保険年金課

長寿福祉課
保険年金課

福祉総合支援課

保険年金課

「健康貯金」とは、どんなことをするのか？

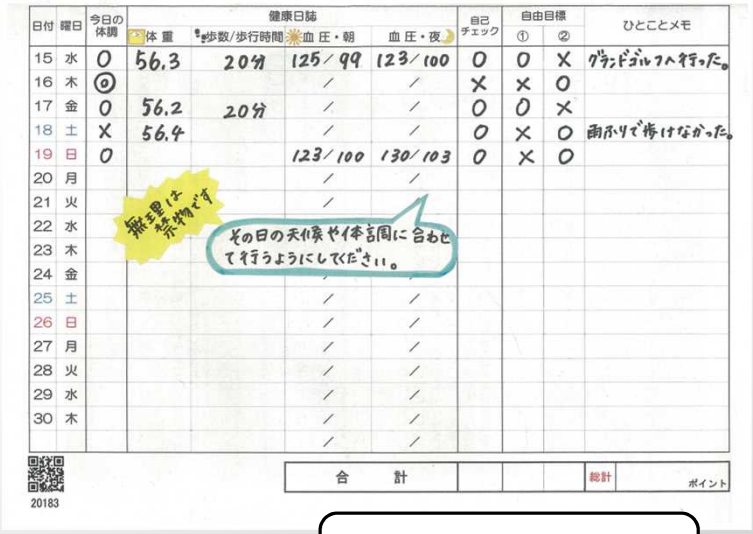
・まず、毎日出来る目標を2つ決めます。

・毎日、「健康日誌」に記入をします。

・この毎日の充実した日々を
ポイントに替えて、素敵な商品と
交換します。（1ポイント2円です）

・期間は、来月の1日がスタートで2年間です。

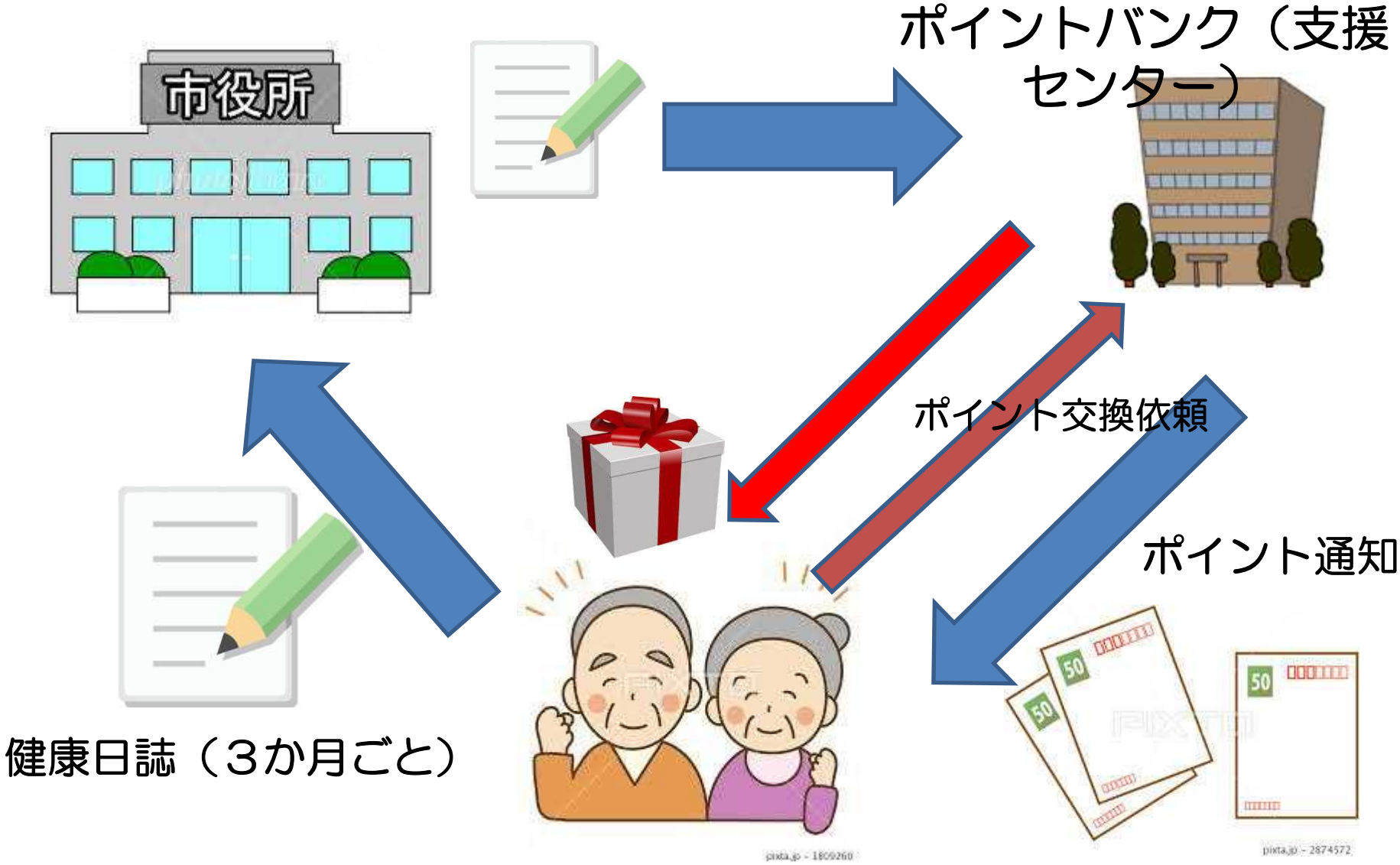
・ご自分のできる範囲で毎日チャレンジをし、
3カ月ごとに市役所保険年金課または支所に
健康日誌を提出します。



日付	曜日	今日の体調	健康日誌 体重	歩数/歩行時間	血圧・朝	血圧・夜	自己チェック	自由目標 ①	自由目標 ②	ひとことメモ
15	水	0	56.3	20分	125/99	123/100	0	0	×	グランドゴルフへ行った。
16	木	◎			/	/	×	×	0	
17	金	0	56.2	20分	/	/	0	0	×	
18	土	×	56.4		/	/	0	×	0	雨ふりで歩けなかった。
19	日	0			123/100	130/103	0	×	0	
20	月				/	/				
21	火				/					
22	水									
23	木									
24	金									
25	土				/	/				
26	日				/	/				
27	月				/	/				
28	火				/	/				
29	水				/	/				
30	木				/	/				
					合	計				総計 ポイント

日誌見本

健康貯金の流れ（概略）



交換できる素敵な商品とは・・・

①健康グッズ

ウォーキングシューズ、ヘルスメーター
万歩計など

②商品券

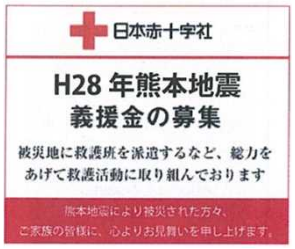
市内に店舗のある商品券など

③東近江市特産品

お米、お酒、お菓子など

④ボランティア基金へ寄付

被災地への基金など



いきいきシニア参加者数及び健康貯金参加者数

年度	全対象者数	いきいきシニア参加者数	参加率	健康貯金参加者数	参加率
H27(7月～3月)	830	273	32.9%	144	52.7%
H28	1,162	327	28.1%	129	39.4%
H29	1,141	386	33.8%	235	60.9%
H30(4月～7月)	378	109	28.8%	61	56.0%
合計	3,511	1,095	31.2%	569	52.0%

健康貯金修了者数

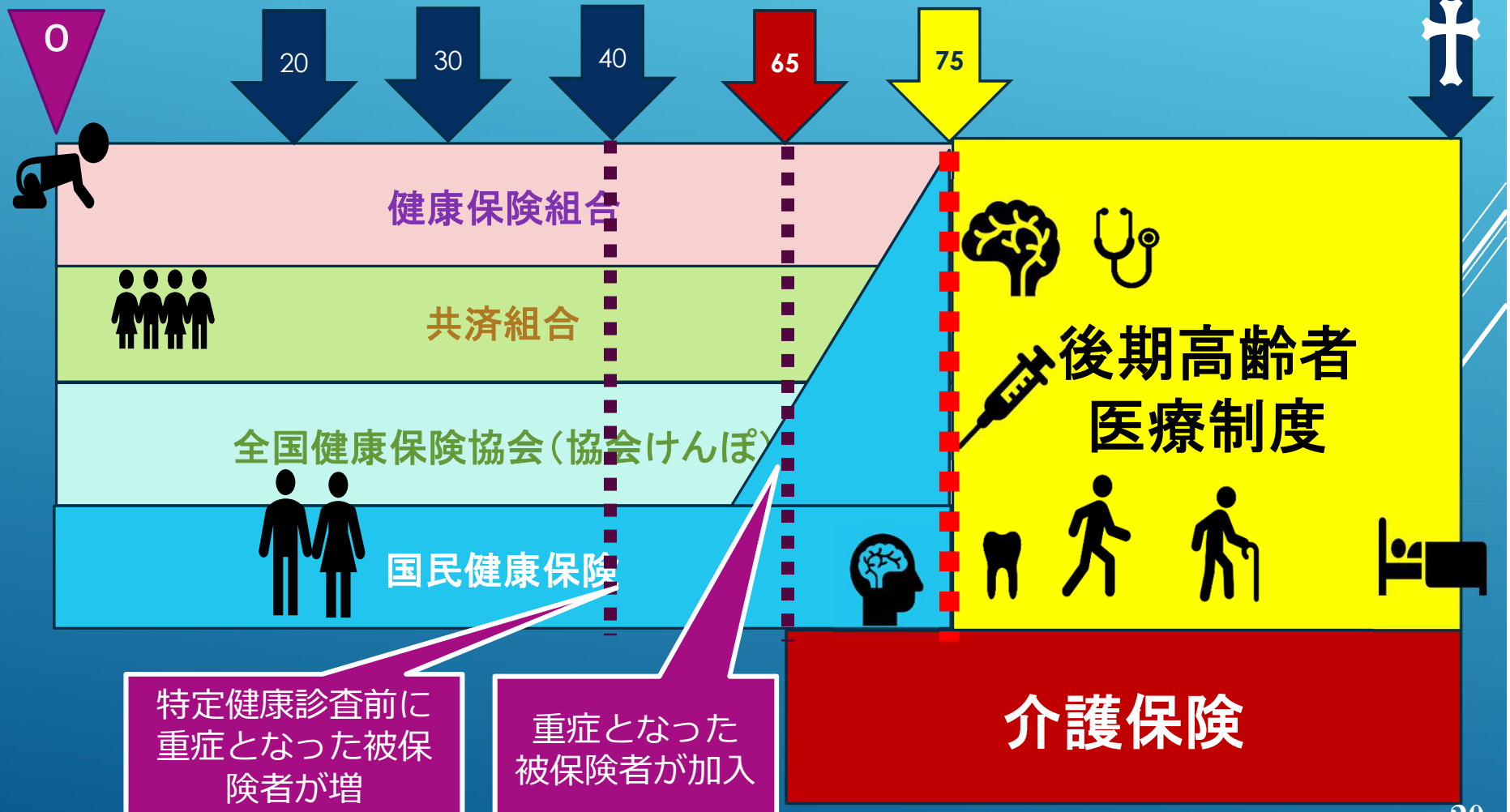
参加者総数　※1	修了者数　※2	修了者率	脱退者数	脱退率
191	79	41.4%	112	58.6%

※1　平成３０年７月３１日時点をもって２年を迎える方及び,それ以前で２年を経過した方。
※2　１年以上健康貯金の提出があった方を修了とみなす。

スタートから3年が経過し、健康貯金修了者も出ていることから、
今後は、いきいきシニア参加者⇔非参加者、健康貯金参加者⇔非参加者などを
レセプトデータ、6か月後のアンケート結果などから事業実施効果分析を実施予定。

医療保険の流れと節目

国民健康保険：40歳手前の早期介入と60歳以降の重症となった社会保険からの加入者対応
介護保険：40歳以降、65歳以降の国保と後期と連動した資格・給付管理
後期高齢：介護保険と連動した資格・給付管理



3　各課連携によるフレイル対策

①庁内連携

●介護保険関係部局（健康福祉部）との連携

長寿福祉課

介護保険運営協議会、第7期事業計画策定

福祉総合支援課

「認知症予防対策」･･･物忘れ相談プログラムの購入

保険年金課と福祉総合支援課の窓口に不定期に設置

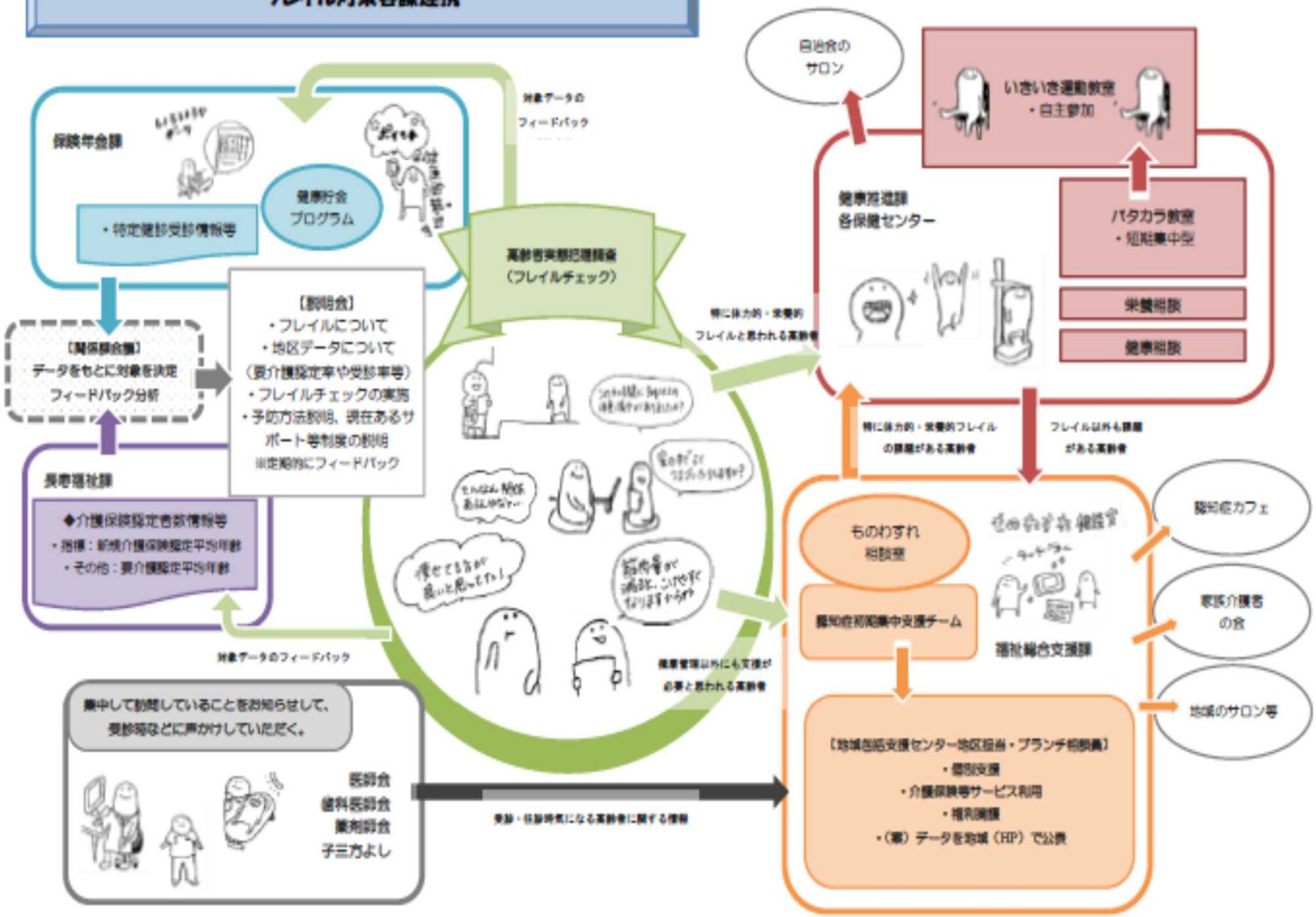
高齢者対象の「ふれあいサロン」「出前講座」で活用

７５歳到達者対象のいきいきシニア７５で活用

「フレイル対策」･･別添資料（いきいきシニア７５活用）

資料7

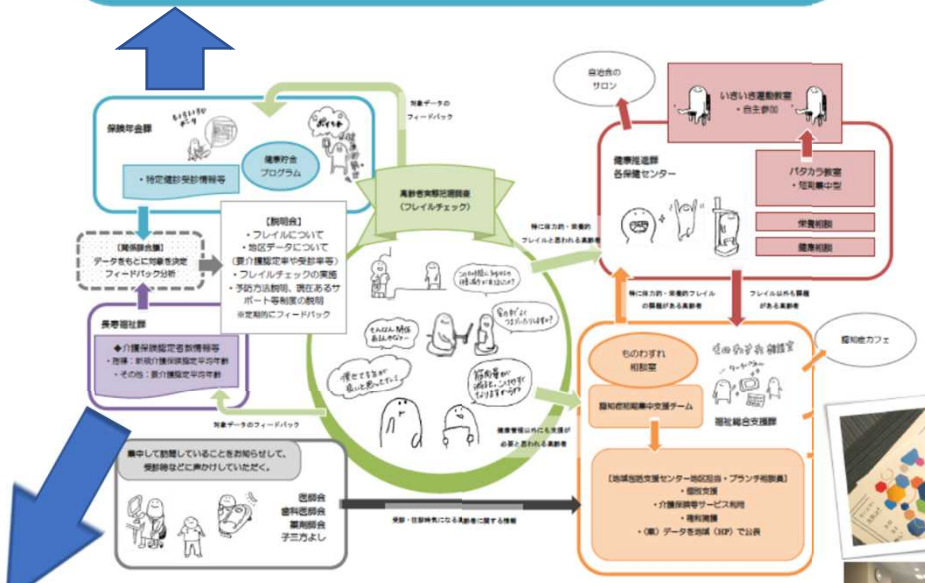
フレイル対策各課連携



保険年金課

健康貯金プログラム

・特定健診受診情報等



長寿福祉課

◆介護保険認定者数情報等
・指標：新規介護保険認定平均年齢
・その他：要介護認定平均年齢

●地域高齢者声かけ見守り調査
●認知症カフェ（市内5か所）
●認知症サポーター
地域での取組み
●市民講座（認知症連続講座）
●出前講座
●認知症キャラバンメイト
●福祉授業（小学校・中学校）

東近江市では、左図のとおり、地域で認知症の人を支える様々な活動が行われています。

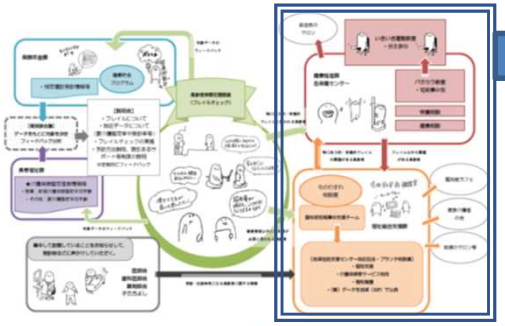
今回、その中から、認知症カフェの取組みを紹介します。

出会いと情報交換の場
認知症カフェ

名称	問合せ
認知症カフェ（栄町）	NPO法人しみんふくしの家八日市 ☎0748-22-7006
かじやの里カフェ（佐生町）	NPOかじやの里 ☎050-5802-9693
ちゃがゆの郷カフェ（乙女浜町）	東近江市社会福祉協議会 ☎0748-45-8033 FAX 050-5802-6107
菊水すこやかCafe（神郷町）	菊水神郷デイサービス ☎0748-43-0728
オレンジ・サンシャインカフェ（沖野五丁目）	リースナブル・リハせきすい ☎0748-23-1199

認知症カフェは、認知症の人やその家族、地域の皆さんが参加して、お茶をしながら交流を深める場です。日々の生活の中で感じている悩みを共有することで心のストレスを軽減したり、気軽に話し、楽しむ仲間をつくることができます。また、ケアマネジャーなどの専門家もいますので、症状の変化や家族の負担感に気づくこともできます。

NPO法人しみんふくしの家八日市が主催する認知症カフェは、地元の人に認知症の人との関わりかや、認知症予防などの啓発を行うことを中心に開催されています。認知症カフェは左表のとおり市内で5か所実施されています。参加することで、新たな出会いや発見があるかもしれません。



いきいき運動教室
・自主参加

健康推進課
各保健センター
各支所窓口

パタカラ教室
・短期集中型

栄養相談

健康相談

自治会の
サロン

・東近江市役所（東庁舎）
・八日市コミュニティセンター
・延命荘
・五個荘コミュニティセンター
・湖東コミュニティセンター
・蒲生コミュニティセンター
・長峰コミュニティセンター
・やわらぎホール

＜保健師等専門職による出前講座＞
・認知症予防　・口腔機能向上
・栄養改善　　・運動機能向上

・ショッピングプラザアピア
・能登川保健センター　等　他４ヶ所
・全１２回（週１回）

特に体力的・栄養的フレイルの課題がある高齢者

フレイル以外も課題がある高齢者

ものわすれ
相談室

認知症初期集中支援チーム

福祉総合支援課

【地域包括支援センター地区担当・ブランチ相談員】
・個別支援
・介護保険等サービス利用
・権利擁護
・（案）データを地域（HP）で公表

認知症カフェ

・オレンジサンシャインカフェ
・かじやカフェ
・きいとカフェ
・菊水すこやかカフェ
・ちゃがゆの郷☆カフェ
・認知しよう「カフェ」

家族介護者
の会

・カタクリの会　・コスモスの会
・小田苅家（男性介護者のつどい）
・じゃがいもの会
・ちょっといっぷくの会
・ほっとミルク　・ほのぼの会
・ミモリの会

地域のサロン等

・縁側カフェ
・コミカフェ GOO
・はちのひカフェ　等
（コミュニティセンターで開催のカフェ、サロン中心に紹介。その他、市社協に本人の住所地に近いサロンを確認。）

いきいきシニア75対象者への案内

ものわすれ相談室

予約制　無料

知って備えれば、安心！

●3つの「すまいるプログラム」で、脳と心の元気さを維持しよう！

①すまいるタッチ

最新式のタッチパネルを使って、簡単な質問に答えていただくことで、脳の元気度を確認することができます。

②すまいるシート

簡易なチェックシートを使用して、生活の中で自信を持って出来ていることや、困っていることなどを確認していきます。

③すまいるアドバイス

上記のチェック結果を参考にしながら、認知症の予防や、すこやかな暮らしを維持していくための取り組み等について、専門職からアドバイスをさせていただきます。

日頃の心配事なども、ご相談ください。

●申し込み・問い合わせ先

東近江市役所　福祉総合支援課

電話　0748-24-5641

IP電話 050-5801-5641

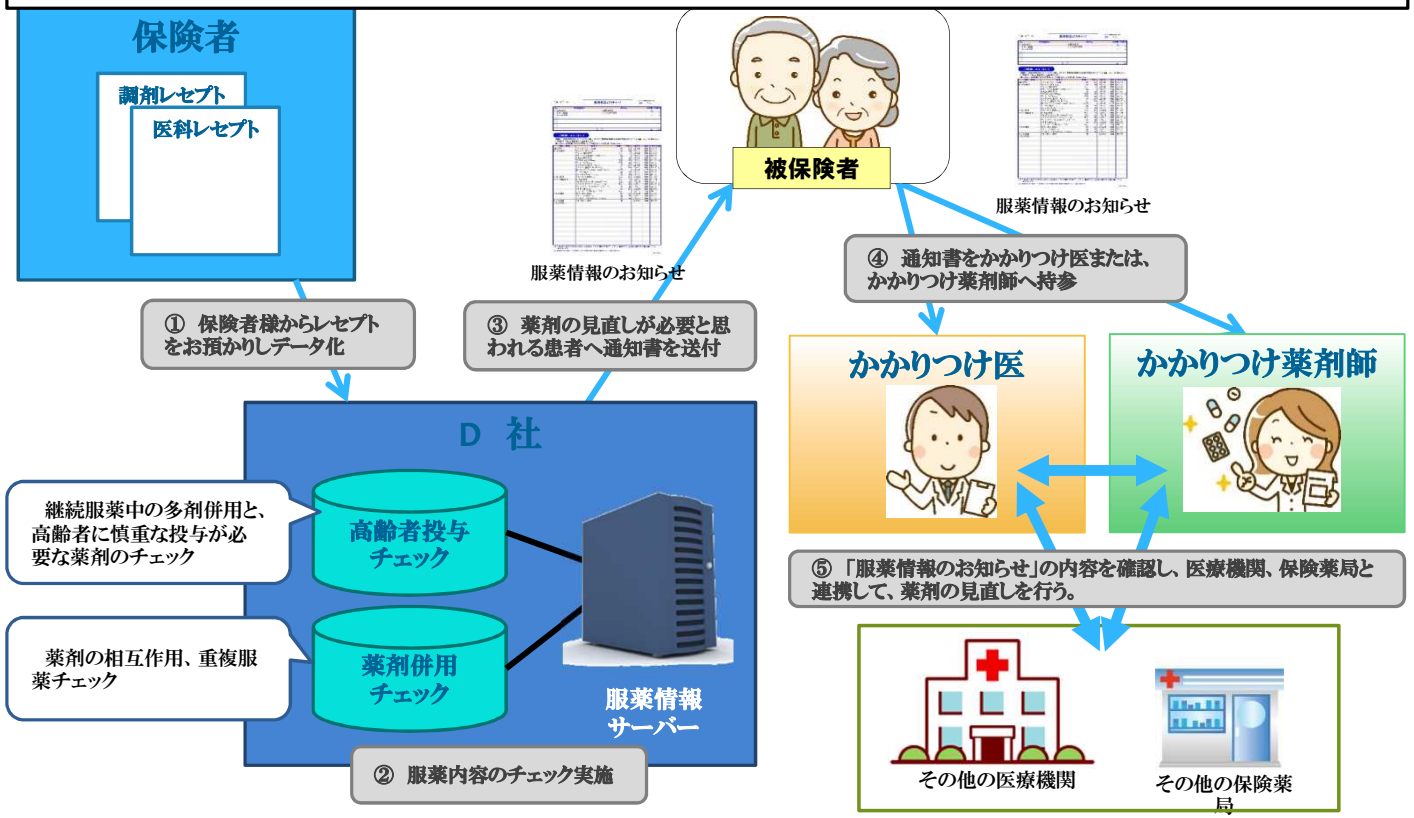
●所要時間：約３０分

平成 30 年度　ものわすれ相談室の年間予定表

4月19日(木)	湖東コミュニティセンター別館会議室
5月11日(金)	五個荘コミュニティセンター研修室1･2
6月 8日(金)	八日市保健センター
7月13日(金)	八日市保健センター
8月10日(金)	永源寺コミュニティセンター201･203
9月14日(金)	蒲生コミュニティセンター学習室3･4
10月11日(木)	能登川コミュニティセンター学習室5･6
11月 9日(金)	愛東支所　会議室2
12月14日(金)	東近江市役所　福祉総合支援課
1月11日(金)	東近江市役所　福祉総合支援課
2月14日(木)	東近江市役所　福祉総合支援課
3月14日(木)	東近江市役所　福祉総合支援課

（資料提供） 1 服薬情報通知の取組

- 多剤投与や、相互作用、重複投与などで問題のある患者へ、「服薬情報のお知らせ」を送付します。
- 院外処方された服薬情報に限らず、院内処方分も合わせて一元管理しています。



全薬品の年齢階層別状況について

年齢階級別　薬剤投与種類数毎の患者数

全薬品

2017/2/8

東近江市の実績（国保＋後期高齢者）
平成28年　8月診療分
被保険者数 40,659 名　レセプト数(医科入院外・調剤) 52,898 件

薬剤投与数		0～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	89	90～94	95～99	100～
被保険者数		584	678	726	854	735	821	896	1,244	1,403	1,396	1,274	1,549	3,451	6,434	4,995	4,788	4,053	2,955	1,378	391	54
レセプト件数		627	415	295	300	301	396	387	604	719	831	844	1,252	3,454	8,475	8,196	9,256	8,197	5,464	2,277	539	69
処方薬剤数	投薬なし	56	34	51	63	42	31	43	59	67	49	47	70	162	303	186	143	115	79	55	16	4
	1種類	36	33	34	41	25	49	29	49	47	49	56	87	264	563	361	284	176	90	44	17	2
	2種類	37	35	19	23	25	34	32	47	54	70	45	95	246	587	423	358	230	144	65	22	3
	3種類	45	39	23	17	23	22	30	50	57	53	67	88	235	526	452	362	255	160	88	24	7
	4種類	34	23	16	15	14	19	22	35	45	38	49	54	185	448	365	384	300	189	91	28	9
	5種類	20	12	12	10	14	8	24	26	39	44	36	44	151	378	334	382	314	237	89	36	0
	6種類	11	12	5	7	4	11	6	8	18	13	30	40	102	307	283	357	310	229	110	27	3
	7種類	19	2	7	5	6	5	12	13	17	12	16	25	78	218	239	303	268	221	98	24	2
	8種類	9	6	4	1	3	3	6	4	8	16	14	28	51	160	211	258	276	197	94	21	2
	9種類	7	2	0	2	2	1	4	8	10	13	11	16	49	107	165	200	228	177	77	22	2
	10種類	4	4	0	1	0	4	2	5	5	6	5	9	21	81	112	170	200	129	58	4	2
	11種類	2	3	1	0	1	0	1	6	3	5	2	8	26	64	92	137	148	136	57	10	0
	12種類	1	1	1	0	0	3	0	1	3	4	8	9	17	38	74	94	118	74	32	8	0
	13種類	0	3	0	0	1	3	1	3	1	6	6	2	13	37	48	86	93	62	33	5	1
	14種類	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	4	7	12	28	37	57	71	56	24	0	0
	15種類	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	2	6	13	34	41	42	34	15	1	0
	16種類	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	0	2	3	19	18	30	35	26	10	0	0
	17種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	5	7	10	24	22	16	7	0	0
	18種類	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	4	5	10	8	16	13	16	3	2	0
	19種類	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2	5	9	10	11	4	4	1	0
	20種類	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	[illegible]	1	2	5	9	7	6	0	1	0
	21種類以上	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	1	0	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	16	5	1	0
合　計		284	209	173	185	160	195	213	318	379	390	401	594	1,640	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	059	270	37

594→1，640
60歳を境に約3倍

薬剤の判定方法
医科入院外：20投薬（診療識別が21～23）、かつ薬価基準コードが600000000～699999999（薬価収載薬剤
調剤：薬価基準コードが600000000～699999999（薬価収載薬剤全てを対象）
複数医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類でカウントしています。

医療機関数について
調剤薬局はカウントしていません。

事業目的および抽出条件について

事業目的

複数の医療機関に受診されている場合、それぞれの医療機関等では、処方薬について適切な管理がされていますが、服薬しているすべての薬を見た場合、同じ成分の薬や薬同士の飲み合わせが悪い等の問題が以前からありました。

それらを防ぐためにかかりつけ医・かかりつけ薬剤師にすべての薬剤を知ってもらった上で、適切に処方してもらうことがこの事業の目的である。

抽出条件

対象者　①東近江市国民健康保険加入者で60歳以上75歳未満の方
　東近江市内の後期高齢者医療加入者（75歳以上）
②複数医療機関（2カ所以上）の受診歴有
③6種類以上の薬を服薬
※①②③の全て該当する方

対象月　平成28年6月診療分（国保）平成28年8月診療分（後期）

案内情報　診療報酬明細書（レセプト）医科の外来と調剤

事業の経緯について

平成28年
・5月　東近江薬剤師会長へお願い
・6月　東近江医師会長へお願い
・7月　各定例会へ事業概要説明
・8月　通知書などへの意見徴集を実施
・9月　各定例会で最終調整
・10月15日　説明会の開催
・10月27日　通知書の発送（国保加入者）1，152名
・12月　アンケート調査
平成29年
・2月6日　通知書の発送（後期高齢医療加入者）2，544名
・9月4日　通知書の発送（国保加入者）1，198名
・11月13日　通知書の発送(後期高齢医療加入）2，591名

報道機関の反応について

薬の重複 ありませんか

東近江市 複数受診、60～74歳に通知

複数の医療機関を受診して処方された薬が重複していないか確認してもらおうと、東近江市は処方された全ての薬を表示した「服薬情報通知」＝写真＝を発送した。薬の飲み合わせによる健康被害を防ぐとともに、増加傾向にある市の医療費負担の軽減が目的で、全国初の試みという。

国民健康保険加入者で複数の医療機関を受診し多種類の薬を処方されている60～74歳の1152人が対象。入院と歯科を除き、診療報酬明細書（レセプト）の情報を基に6月分で作成し、10月27日に送付した。

医療機関名と薬局名、薬の名前を一覧で表示。数量や回数、調剤日、内服・頓服など剤型も記されている。成分が同一の場合、「○」印を付け、一目で薬の重複がわかるように工夫している。

機関で配られる「お薬手帳」で確認できるが、複数の医療機関を受診した場合、履歴情報の一元管理が手間になる。市は今後、送付の翌月となる11月診療分のレセプトと比較し、通知の効果を検証する。

担当者は「薬の飲み合わせが悪い場合もある。通知を医師や薬剤師に見せて情報を共有してもらい、適切な処方につながれば」と話している。（小宮宏祐）

服薬情報を一覧通知

東近江市はこのほど、複数の医療機関を受診して多種類の薬剤を処方されている患者に対し、全ての服薬情報を一覧で通知した。全国初の取り組みという。処方薬を適切に管理することで、薬の重複や飲み合わせによる副作用を防ぐとともに、新薬の登場などで高騰する医療費の削減につなげられないかとしている。

複数の病院受診対象 重複・副作用防ぐ

処方薬の種類や服用履歴などは、薬局や病院で配布される「お薬手帳」で管理できる。しかし複数の病院を受診している場合、病院ごとに別々の手帳が作成されると一元管理できず、同じ成分の薬が重複したり、有害な組み合わせの薬が処方されたりする問題があった。

通知は、市国民健康保険のレセプト（診療報酬明細書）を基に、処方された全ての薬を把握。6種類以上の薬を処方された高齢者は有害な副作用のリスクが高まるという統計があることから、2カ所以上の医療機関の受診歴があり、6種類以上を服薬した60歳以上75歳未満の被保険者に、全処方薬の一覧表を送付した。

一覧表では、同じ成分の薬に目印をつけ、かかりつけ医や薬剤師と相談して処方薬を見直すよう促している。今回通知したリストには薬の名前、服用量などが一覧表示され、成分が似ている薬には欄外に「○」印を付けて分かりやすいよう工夫した。同封の説明書で、リストを基に医師や薬剤師に薬の内容を照会することを推奨し、飲み合わせが悪い薬の服用も防止できるとしている。入院中と歯科から処方された薬は除外した。

市が負担する医療費は、今年7月のC型肝炎の新薬認可や、薬価上昇などの影響で増加傾向にある。保険年金課によると、リスト送付は全国初の本格運用に向けての試み。受診者と医師、薬剤師が情報を共有し適正な処方を行えば医療費の3割削減も可能という。

今回の効果を検証し改善点などを整理した上で、年内には75歳以上の後期高齢者を対象に試行し、来春には今回の対象者に2回目のリスト送付をしたいという。小椋正清市長は「多くの薬を服用する危険性に気付くきっかけになれば」と話している。【金子裕次郎】

東近江市、医療費減へ全国初取り組み

薬の重複処方に注意して

対象者に送られた薬のリストの見本。成分が似ている薬には表の右に「○」印が付けられている

東近江市 全国に先駆け

複数の医療機関で類似の薬を重複して処方されている人に注意喚起しようと、東近江市は国民健康保険に加入する一部の高齢者に処方薬のリストを送る試みを始めた。対象は今年6月の1カ月間に複数の医療機関で受診し、6種類以上の薬を処方された60～74歳の1152人。27日、受診した医療機関と薬局名、外来診療で処方された全ての薬のリストを送付した。健康被害を防ぐ、適正な服薬を促し、市の医療費負担も軽減する狙いだ。

高齢者にリスト試験送付

岩永・甲賀市長「子育てに力」

初登庁

16日投開票の甲賀市長選で初当選した岩永裕貴市長が31日、初登庁した。

岩永市長は午前8時頃、コミュニティバスで登庁。職員らに自手で出迎えられたハ」と語った。